

あなたの **本**を つくりませんか

自費出版のご案内



新潟日報 メディアネット
Niigata Nippo Media Net

最近、ご自分の本を出版される方が大変多くなっています。

趣味で始めた短歌や俳句を一冊の本にまとめて、友人、知人に配りたい。自分史をまとめたので出版したい。会社が2年後に50年を迎えるので社史をまとめておきたい。撮りためた写真を写真集に、また今まで描いてきた絵画を画集にしたい。随筆、小説を書いたので原稿をみてもらいたい……できれば書店に並べてもらいたいのだが等々、さまざまなご相談が当社へ寄せられます。

新潟日報メディアネットは出版事業70年のノウハウをもって、皆さまのご希望に沿えるよう、出版業務をサポートしています。

なんでもお気軽にご相談ください。経験豊富な編集スタッフが、皆さまのご相談にお応えいたします。

－目 次－

1. 自費出版Q&A	3
2. ここが違います 私たちの本づくり	6
3. 制作費用概算表	7
4. 本ができるまで	9
5. 原稿づくりのポイント	12
6. 仕上がりのイメージを大切に	13

1.自費出版 Q&A

Q 自費出版の内容には、どのようなものがありますか？

A 自分史や趣味を生かした句集、歌集、写真集、画集などさまざまです。社史や記念誌も多くなっています。エッセー（随筆）や小説もあります。

Q 書きためた原稿がありますが、本にできますか？

A 一度見せていただきたいと思います。できれば生原稿ではなく、コピーで複写した原稿の方が安全でしょう。それを基に、どのような書籍にしたいのか、打ち合わせをすることができます。

Q これから書き始めようと思いますが、どのようにまとめたらよいでしょう？

A これから書き始めようとする方は「5. 原稿づくりのポイント」の章をご参考にしてください。それ以外に分からない点があれば、ご遠慮なくご相談ください。

1.自費出版 Q&A

Q 本にまとめたいのですが、自分では書けそうにありませんが…。

A ご自分で書けない場合、お伺いして「取材＋録音」で進める方法があります。その部分の予算はプラスされますが、取材者などは弊社で手配いたします。

Q 部数はどれくらいからでしょう？

A 発行部数は、100部くらい～3,000部までと多種多様です。出版の内容と目的が分かれば、どのくらいの部数が適当か、こちらからご提案いたします。

Q 予算はどれくらいでできますか？

A 内容やページ数にもよりますが、カラーではなくモノクロの活字だけの書籍ですと、100万円（100部）～200万円（1,000部以内）の間のものが主流となっています。

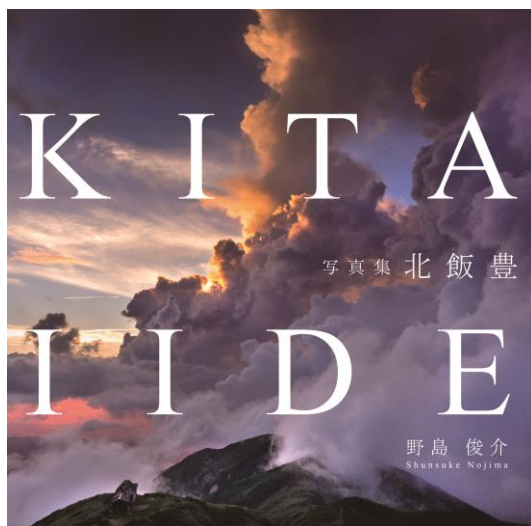
1.自費出版 Q&A

Q 期間はどれくらいかかりますか？

A 原稿（文字・写真・図版）がすべてそろっている場合のデータ入稿ですと、最短約3カ月で完成します。

Q 書店販売はできますか？

A ご希望があれば、内容を検討して、書店の店頭に並べることができます。販売にあたっては別途ご相談を承ります。



写真集 北飯豊

（自費出版大賞 作品集部門 最優秀賞） 【三条市】 野島 俊介さん

飯豊連峰に魅せられて25年、撮りためてきた作品を1冊にまとめました。初めての本作りで不安もありましたが、編集者さんが何度も自宅に足を運んでくれ、適切なアドバイスを都度いただきました。この膝を突き合わせての打ち合わせが、納得いく本作りにつながったと思っています。写真集ですから、本の体裁はもちろん、ページの見せ方にもこだわりました。そんな私の思いを形にしていく編集力、デザイン力は“さすがプロ”の一言です。

2.ここが違います 私たちの本づくり

- ◆ 発行点数 5,000点のノウハウを持っています。
- ◆ 経験豊富な編集スタッフが、原稿整理からきめ細かに対応いたします。
- ◆ ご満足いただける編集・印刷・製本を心がけています。
- ◆ 納品、発送代行まで責任をもってお引き受けいたします。
- ◆ 新潟日報の読書欄や記事での紹介をサポートします。
- ◆ 県下有力書店やオンライン書店で販売代行も行います。



不登校宣言 フリースクール「あうるの森」の子どもたち (自費出版大賞 特別賞) 【長岡市】「あうるの森」代表 山田 竹紘さん

フリースクール「あうるの森」には、二十数名の不登校の子どもたちが通っています。この本は、子どもたちが「自分たちの体験を伝えたい」と企画し、1年がかりで作上げたものです。その間、編集者さんとは二人三脚、しっかりとサポートしていただきました。出来上がった本は、書店などでの販売代行をお願いしました。新聞広告や各種媒体への露出など、販促にも力を入れていただき、本の売れ行きも好調のようです。期待以上、大満足の本づくりになりました。

3.制作費用概算表(金額はあくまでも目安です)

自分史・エッセイ・句歌集

■四六判、160頁

部数	並製本	上製本
100	90万円	100万円
200	108	120
300	126	140
500	144	164
1000	190	220

■A5判、160頁

部数	並製本	上製本
100	100万円	110万円
200	125	138
300	140	155
500	160	180
1000	200	230

<仕様>

本文：書籍用紙スミ 1 色刷

表紙：アートポスト特色 1 色刷

カバー：コート紙カラー印刷PP加工

見返し：色上質紙

上製本は、表紙布クロス金箔押、カバーなし

※扉・口絵・写真は、料金に含まれておりません

※データ化されていない原稿での入稿の場合は、文字入力のコストが加算されます

※消費税別途

3.制作費用概算表(金額はあくまでも目安です)

画集・写真集

■A4判、カラー80頁

部数	並製本	上製本
100	200万円	220万円
200	210	225
300	220	240
500	235	275
1000	250	300

<仕様>

口絵・本文：コート紙、写真カラー80点

表紙：アートポスト特色1色刷

カバー：コート紙カラー印刷PP加工

見返し：色上質紙

上製本は、表紙布クロス金箔押、カバーなし

※扉・口絵・写真撮影は、料金に含まれておりません

※データ化されていない原稿での入稿の場合は、

文字入力のコストが加算されます

※消費税別途

【参考:本のサイズ】

判型	大きさ	傾向
A4判	297mm×210mm	画集、写真集、記念誌
B5判	257mm×182mm	社史、記念誌
A5判	210mm×148mm	自分史、詩歌集
四六判	188mm×128mm	小説、自分史、句歌集、随筆

*内容に合った判型を選んでください。
決められた判型ではなく変型サイズでも構いません。

ご予算が合わない場合でも、制作方法や仕様を変えて、ご予算内でつくれる本をご提案いたします。 8

4.本ができるまで

ご相談 1

- 本の内容、部数、装丁、予算など、どんなことでもお気軽にご相談ください。必要があれば、お客さまのお宅へお伺いし、ご説明いたします。参考にされている本をお見せいただけるとお打ち合わせがスムーズです。

見積もり 2

- お話を基に、見積書をお作りいたします。ご予算については、ご相談させていただきます。お見積もりの作成までは無料です。

契約 3

- 見積金額にご納得いただけましたらご契約となります。契約書をご用意し、契約内容をご説明いたします。ご契約後、見積額の半額相当を着手金としてお支払いいただきます。

入稿 4

- 原稿の準備が整いましたら、出来上がりまでの制作スケジュールを作成し、ご提案いたします。本文に写真やイラストを使う場合は、本文原稿に添付願います。

4.本ができるまで

原稿整理

5

- いよいよ編集作業を始めます。章立て、見出し、段落、文章整理、写真の挿入、レイアウトなどを進めます。

組み見本確認

6

- 本文の組み見本をご覧いただき、活字の大小、1ページの行数などについてご希望を承ってから、本文の組み方を確定します。

文字組み版

7

- 6で確定した組み方に沿って、実際の文字組み作業を進めます。文章の量にもよりますが、だいたい2～3週間が必要です。

初校

8

- 組み上がった文章に誤りがないか、ゲラで確認をしていただきます。併せて、担当編集者が校正作業を行い、疑問点などお伺いしながら作業を進めます。

4.本ができるまで

再校

9

- 1回目の修正箇所が指示通りに直っているか、追加の修正がないか再度確認していただきます。また、ページが確定した段階では、目次や奥付についてもご覧いただきます。基本的に校正は3校まで行います。

印刷・製本

10

- 修正箇所の最終チェックをしてから印刷に入ります。印刷・製本からご納品まで2週間ほどかかりますが、画集や写真集などの場合は印刷前に色校正をしていただきます。

最終見積もり

11

- 契約時から仕様や部数に変更が生じた場合は都度お見積もりをいたします。最終御見積額から着手を差し引いた残りの金額を納品後2週間以内にお支払いいただきます。

納品・発送

12

- 出来上がりを検品の後、ご指定の場所に納入させていただきます。また、お知り合いの方々へ発送の必要がある場合は、宅配便などで弊社から発送代行させていただきます。発送に関わる費用は別途お見積もりをいたしますので、あらかじめ発送リスト（受取人の名前、郵便番号、住所、電話番号）をご用意ください。

5.原稿づくりのポイント

まず、目次を作ります

- 大きな章立てを考えます。自分史などの場合は、だいたい年代順に大きく区切ります。
- それぞれの章の内容をさらに幾つかに分け、各部分に書き入れる項目を決めてから、書き始めます。人名や地名、月日などは、できるだけ正確に。
- 各部分の文章量がほぼ同じくらいの文字数になると、全体的にバランスの取れた仕上がりになります。

原稿の書き方

<手書き原稿の場合>

- 原稿用紙をお使いください。誤植が少なくなりますし、書き上がったときに、文字数がある程度つかみやすくなります。1ページの文字数が決まると、出来上がりのだいたいの総ページ数が分かります。

<データ入力原稿の場合>

- データと出力紙をお貸しください。当方での入力作業がない分、校正出しまでの時間が短縮され、料金も抑えることができます。

写真やレイアウト

- 写真やイラストをプリントや原版で使う場合は、傷めないように表面にトレーシングペーパーなどをかぶせ、裏面に整理番号などを付けておきます。
- トリミングが必要な場合は、指示するとともに、説明をつける場合は専用の原稿用紙を添付します。
- データで保存している場合は、データをUSBメモリなどにコピーしたものをお貸しください。

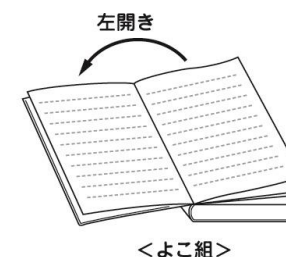
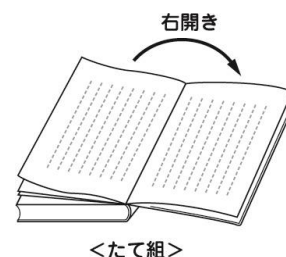
6.仕上がりのイメージを大切に

本のサイズを選びます

- 自分史、エッセイ、紀行文、句歌集などに多く使われるサイズは、四六判と呼ばれる大きさが一般的です。本文仕上がりサイズは、タテ188ミリ×ヨコ128ミリです。
- 社史や写真集、記念誌ではB5（257ミリ×182ミリ）やA4（297ミリ×210ミリ）、写真集や画集では、やや正方形に近いA4変形判（200ミリ×210ミリ）やB4変形判（260ミリ×250ミリ）なども多く使われています。

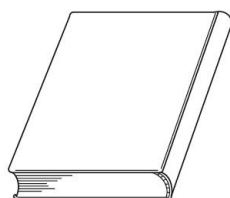
文字の書体や大きさ、組み方を決めます

- 実際に多く使われている書体や文字の大きさを参考にされるのがよいでしょう。

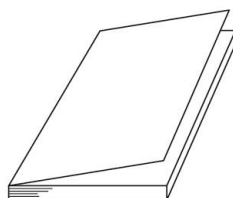


装丁についてのプラン

- 予算にも関わってきますが、大きく分けて並製か上製かの二つのタイプに分かれます。



<上製本>



<並製本>

